

月刊

建材

ナビ

特集：売上高1000億円台に向かって潜在需要の

掘りおこしを進めるビル・マンション改装市場

特集：ホルムアルデヒド等有害物質対策に

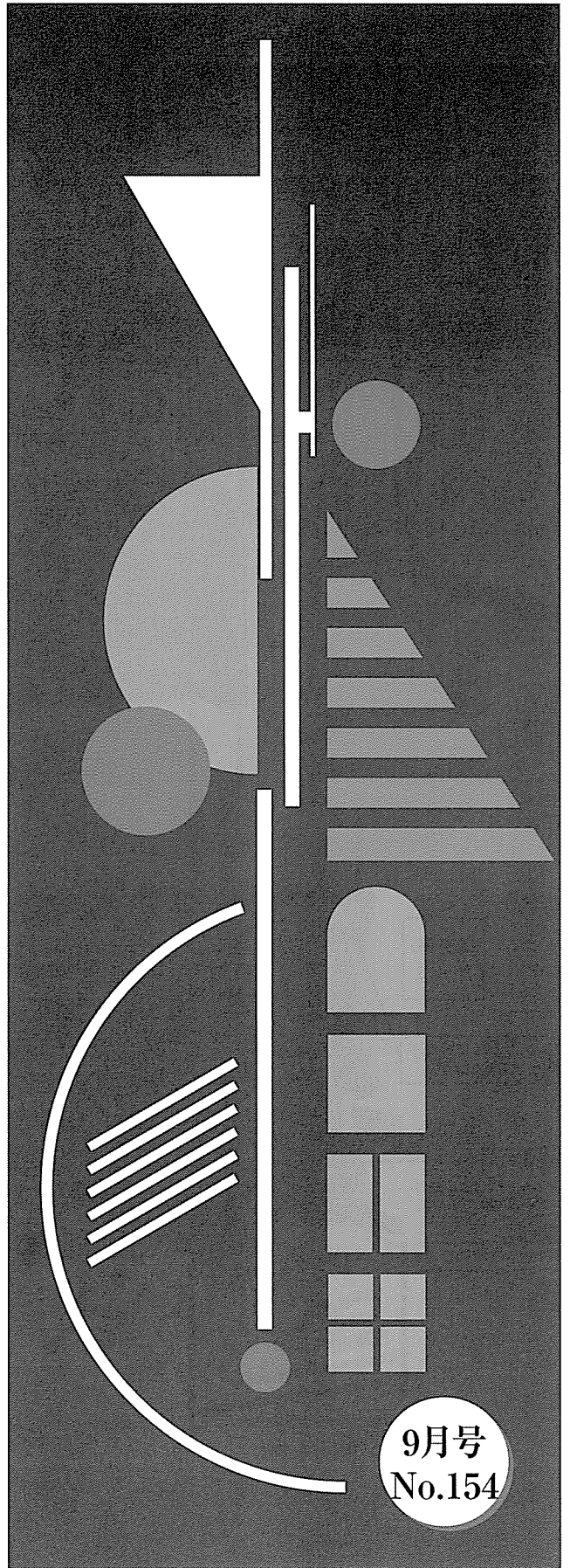
効果的な塗り壁・天井材——けいそう壁／

備長炭壁／ゼオライト壁／しっくい壁……

特集：最新ライフスタイルにあった快適で健康的な

室内空間を実現する木質内装建材／

アルミ内装建材



9月号
No.154

ミルト出版会
〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87
ト-1-407号
☎042-484-4507
FAX 042-484-4509
発行人 堤 祥行
年間購読料 30,000円(送料・税込)

建材navi 9月号-No.154 目次

- 特集** 売上高1000億円台に向かって潜在需要の掘りおこしを進めるビル・マンション改装市場 10
- 特集** ホルムアルデヒド等有害物質対策に効果的な塗り壁・天井材——けいそう壁／備長炭壁／ゼオライト壁／しっくい壁・・・ 13
- 特集** 最新ライフスタイルにあった快適で健康的な室内空間を実現する木質内装建材／アルミ内装建材 15
- [環境・健康建材コーナー] 7
- [新製品・新技術情報／業界の動き] 18

© Miruto Shuppankai Ltd.2011 無断転載・コピーを禁ず

建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX:042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成23年(2011年) 号(月号)より1年間購読します。

(年間購読料／送料・税込30,000円)

貴社名		部署		ご芳名		印
送付先				☎		
				FAX		

三協・立山ホールディングス藤木正和社長に聞く

信用第一に事業をすすめ、地元の知恵をお借りして代理店さんと共に売るという創業精神は変わらない

——前期業績と今期の見通しについて……。

藤木 住宅代理店のない地域をカバーする販売会社を含めて見ていくと、ビル建材は売上高657億円、前期比-11.5%、エクステリアを含む住宅が1338億円、+6.5%、賃貸料等のその他が3.6億円、計2005億円。営業利益がビル-24億円、住宅+68億円、その他+3.6億円、計47.9億円。住宅の内、エクステリアは約3分の1強。今期は、三協立山アルミ単体で売上高1990億円、営業利益31億円を予想している。

——住宅分野における流通政策について。

藤木 これは従来通り、変わらない。創業以来、高岡の地場産業としてアルミを育ててきた我々は信用を第一に事業をすすめてきた。販売においても、地元の知恵をお借りして、代理店さんが売れるものを売るという考え方で事業を行ってきた。

したがって、最近の断熱製品についても、基本的には代理店さんと契約を交わし、一緒に販売できる仕組みづくりを行政の理解のもとにすすめている。同じように、防火製品についても地元の代理店さんと協業できるような形にしていきたいと考えている。

——窓ラベルの張付に関する取り組みは？

藤木 優良納材店支援制度を実



施し、5月末に約400社、8月末にはさらに200社と契約を交わす。最終的には約700社を認定することになりそうだ。ラベル張付は年内に100%に持っていかせたいとおもう。自社張付は、すでに樹脂サッシでおこなっているほか、ハウスメーカー向け商品が自社張付されている。

いづれにしても、代理店さんが自ら張付するケース、三協立山アルミの張付したものを扱うケース、どちらでも選択可能な仕組みをつくっている。

いづれにしても、代理店さんが自ら張付するケース、三協立山アルミの張付したものを扱うケース、どちらでも選択可能な仕組みをつくっている。

住宅リフォーム「一新助家」加盟500店、5月前年比50%増、ビル改装「STER事業部」30%増、環境商品好評

——流通支援策のひとつであるリフォームへの取り組み……。

藤木 住宅リフォーム分野で一新助家を7年前に組織した。加盟店数は増減を繰り返しながら現在500店。その加盟店の売上高が、5月には前年比50%アップした。あくまでも加盟店を支援することを目的にしたもので、店の稼働率がどれだけ高まるかに軸足を移してすすめている。三協立山アルミの製品は売上全体の20%弱で、太陽光パネルなら京セラさん、外装材はニ

チハさん、キッチンにはタカラスタンダードさんを紹介する形をとって、加盟店さんの売上増加をサポートしている。

ビル改装では、「STER事業部」を中心に展開し、売上高30%アップした。現在140億前後の売上高を、東名阪中心に3年後に300億円を目標にしている。

また、商品的には耐震商品の要望も増えてきたが、新商品の「アームス自然換気システム」や風と暮らす住まいづくりを提案する「マディオナビ」などの環境商品が好評だ。ソーラー熱を利用した手すりではガス協会から技術大賞を受賞した。

いづれにしてもリフォーム事業はフレキシブルに考えており、地元根付いた信用度の高いお店の掘りおこしを進めていこうとおもっている。

——海外事業の展開について。

藤木 海外は勉強しながら進めているところで、本格化はこれからと理解していただきたい。商業施設事業で上海に製造・販売拠点の上海立山商業施設、立山貿易をおいたのを皮切りに、今年4月には台湾にサッシ・カーテンウォール、押出型材を含めて対応する三協大同アルミを設立、タイでムアントンアルミニウムと業務提携した。

海外事業は、2016年度売上高40億円を目標にしている。まず台湾でわれわれの技術力・提案力を定着させて中国を含むグローバルな展開をめざすことになる。(7月27日高岡本社の日本建材新聞協会共同インタビューから)

ささら桁のないシンプルな究極のシースルー直階段
「オブジェアダンドル」新発売

カツデンアーキテック（坂田清茂社長、本社：東京都台東区東上野2-14-1 マルコーセンタービル8階）は、宙に浮いたイメージの段板が連続する、ささら桁のないシンプルなシースルー直階段「オブ



ジェアダンドル」を発売し、スチール製室内階段のバリエーション化をほぼ完成した。

シースルー直階段『Objeta A (オブジェA)』シリーズを皮切りに、リビング階段の採用による新たなライフスタイルを提案すると同時に、それまで現場対応していた室内階段を、ノックダウン方式でインテリアの一部としての斬新な発想にもとづくシースルー直階段のバリエーション化をすすめた。室内階段としての安定した強度とデザイン性の両立を、高度な加工技術に裏打ちされた商品開発力でクリア。インテリアを構成するオブジェのようなリビング階段とのコンセプトは、<ささら桁>のない究極のシースルーデザインが追求されてきた。

いまや業界のリーディングメーカーとして、シースルー直階段「オブジェA」に代表される、スチール製直階段、らせん階段、ロフト階段など豊富な機種を揃えている。

最近では、スチール製フレキシブル階段「フリス」が、φ25.4mmのスリムなロッドと段板を組み合わせたささら桁のないユニークな室内階段。また、スチール直階段「ウェーブス」は、1枚のスチール板が折り曲げられて段板と蹴込みを流れるように構成するフォルムを実現。このデザインはスチール製らせん階段「ウェーブスらせん」として、シースルーらせん階段「モデリア」（1坪設置可能）、「KDスパイラル」につづいた。

今回のシースルー直階段「オブジェアダンドル」は、ささら桁やロッドを消した片持ちタイプで、壁から突き出した段板が宙に浮いているようなシースルー階段の究極のデザインといえる。段板を

支え、デザインにアクセントをあたえるブレード2形状を用意。段板には、F☆☆☆☆の木製ゴム集成材とパーチ積層材ロシアンパーチの2種類。トップレールにフラットバーと丸パイプ、手すりに横棧とSUSワイヤーをそれぞれ品揃えする。参考価格は木製段板13段タイプで78万円。

直階段・らせん階段出荷月120台を堅持、リビング階段の採用率の拡大に伴い早い時期に10億円事業に育成

——大震災の影響、現況はいかがですか？

坂田 大震災前までは好調であった。その後、お客さんが仮設住宅に手をとられたこともあって、需要が激減し赤字を心配したが、何とか黒字を確保した。商品的には、階段事業のがんばりに支えられる恰好で、一方の柱であったアルミ手すり事業は今年も多くを期待できない。一度退場を余儀なくされたメーカーの再登場を許すような市場環境がづくかぎり、低価格競争の悪循環を断ち切ることは難しい。

——室内階段では、片持ちタイプのシースルー直階段「オブジェアダンドル」を発売し、これまで追求されてきた室内階段のバリエーション化が一段落でしょうか？

坂田 「オブジェアダンドル」は、ブレードで段板をささえるデザイン。手すりがないほうが空間をひろくみせられるが、それは住まい手であるユーザーの好みによる。ある雑誌の施主への調査によれば、リビング内に階段を設置したケースは4割を超えている。親子のコミュニケーションを大切にした住まいづくりには、シースルー直階段「オブジェA」が最適ですと、新規参入した当初にくらべるとリビング階段への関心はきわめて高く、さらなる広がりが期待できる。

昨年度も月120台の出荷実績を維持しており、出来るだけ早い時期に月200台、10億円事業に到達させたいと考えている。12月には、東京、大阪、名古屋、北関東につづく5拠点目の仙台営業所をオープンさせる。その後、機が熟したら福岡にも



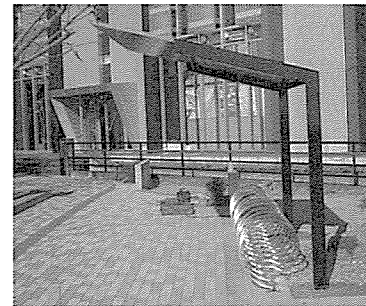
進出したいとおもう。

「オブジェA」を主力にした直階段が、販売全体の8割近くを占め、片持ちタイプの「オブジェアダンドル」を発売したこともあり、今後はデザイン性に優れた室内用手すりのバリエーションをふやしていく。

——新たな事業分野のサイクルスタンド「D-N A」シリーズで、新商品「サイクルポート」を発売されました。

坂田 景観に配慮した駐輪場メーカーがないということで、「D-N A」プロジェクトスタートさせた。景観配慮したサイクルスタンドとして、ステンレスを使ったCLIPタイプ、円のらせんCタイプなどを発売している。その一環として景観を意識しデザイン性に優れた「サイクルポート」を開発した。屋根部の先端1mが支柱から飛び出たデザインが特長。その強度を保つためにスチールと防音材の複合板を採用したが、結果的にサイクルポートの雨音のうるささを気にかけていたユーザーの支持を得る商品として評価された。当面、新規事業分野として5000万円を目標に取り組む。

景観配慮型スタンドの「D-N A」プロジェクトで高意匠・防音タイプの
新感覚の「サイクルポート」を新発売



「D-N A」プロジェクトは、景観配慮型スタンドとして、官公庁施設、文化施設、スポーツ施設、教育施設などをはじめ、ショッピングセンターや都市部の商業ビル、さらにはマンションなどの集合住宅をターゲットに開発されたもの。ラウンドスケープを構成するファニチュアとして、デザイン性にこだわった商品開発を行っている。新商品の「D-N Aサイクルポート」は、防音材をカラー鋼板でクラッドしたフラットですっきりとした意匠の屋根材を採用。とくに、屋根先端部を支柱から1mほど飛び出させた独特のフォルムがセールスポイント。

KATZDEN ARCHITECT

ローコストなノックダウン階段

WAVES
スチール階段

資料請求は今すぐ! ☎0120-76-3552
大好評! 図面を無料でダウンロード
<http://kdat.jp>

カツデンアーキテック株式会社

東京本社 / TEL: 03-5812-2295 FAX: 03-5812-2297
大阪営業所 / TEL: 06-6345-2415 FAX: 06-6345-2416
名古屋営業所 / TEL: 052-202-1266 FAX: 052-202-1277
北関東営業所 / TEL: 0495-76-3675 FAX: 0495-76-3896

杉田エース

「MOVE & MOVEつながる。大きな未来のために」
——チャリティトレードショー「ESTA2011」開催



杉田エース（杉田直良社長）は8月4日、5日の両日、東京ドームシティプリズムホールで建築物総合見本市「ESTA2011」を開催した。今年の見本市は、「MOVE & MOVEつながる。大きな未来のために」をテーマに東日本大震災チャリティトレードショーとして開催された。

出展84社、受注目標85億円、来場者3500人を目標に開催され、受注リベートと同額（目標3000万円）を杉田エース全額負担で義援金として寄付する。

その一部はNPO法人緑のカーテンウォール応援団の「仮設住宅×緑のカーテンウォール3万户プロジェクト」にも寄付される。

このプロジェクトは、被災地の仮設住宅に3年間で3万户を目標に緑のカーテンウォールを無償設置し、仮設住宅の温熱環境の改善、地域コミュニケーションの促進を図ること目的にしたもの。すでに杉田エースは活動資金300万円を寄付し、社員有志が9ヶ所845戸の設置にボランティア参加している。

杉田エースは、東日本大震災の影響を受けた東北支店・仙台

営業所を解体し、新たに東北支店・仙台流通センター新築工事を開始、12月末の竣工をめざしている。現在の仮移転先は仙台市若林区卸町東5丁目3番32号、電話022-390-6711。

主な出展企業（順不同）：
◆ツヅキ——繊維系乾式通気層工法「LLH外断熱システム」：高性能フェノールフォーム断熱材「フェノバボード」厚30mm＋縦胴縁（LLH支持金物）＋通気層＋外装材で構成。冷暖房費・CO₂を42%削減。建物の寿命を延ばし、資産価値をアップさせる。
◆井上商事——アルミ外装建材「シルバライン」：エキスパンションジョイントカバー「アイエスパンション」（床部の稼働率100%を達成。アルミ型材を採用し規格化）／「ノンシールパネル」等。
◆久米工業——LED製品：Tri TERASU導光板（1枚構造で両面発光）とLEDバーを組み合わせた次世代型サイン看板やディスプレイを提案／補助手すりや庇にも応用。SOLAR製品：太陽光発電＋折板カーポート「ソーラーポート」／ソーラーフェンス＋ミスト冷却・LED照明・電動自転車充電ステーション／サイクルポート＋充電ステーション。
◆理研軽金属——スパンドレル・内外装ルーバー：新JISH8602 A1種（最高ランクの高耐候電着塗膜。過酷な環境で



紫外線露光量の多い地域の屋外に適用）認証を価格据え置きで標準仕様。◆積水樹脂——ハイブリッドマテリアル「メタカラー」（ステンレス箔＋樹脂、ステンレス箔＋アルミ型材、アルミ箔＋樹脂等）。◆タキロン——「ルメカーボシリーズ」（ポリカーボネート樹脂製大型ジョイントシステムパネル。外装材や屋根材として多様な分野に採用）。◆共和——「アルフィンADシリーズ」（LEDダウンライト仕様）／「アルフィン小ひさしシリーズ」。◆セイキ販売——玄関・勝手口用アコーデオン網戸「トレミド」（レール高さ3mmのバリアフリー設計。プリーツネットによる折畳みのコンパクト収納タイプ。本体部分を簡単にはずし洗えることが特長）。◆森田アルミ工業——エントランスフック「ヴィク」（掛けるものを選ばないエントランス用アイテム。耐荷重10kg）／室内物干しワイヤー「pid」（最大荷重10kg・最長寸法3.6m）／アルミ忍び返し「AG」。◆カシイ——掲示板・サイン「SBO-R-100」（上下スライドタイプ扉で本体内部に防災用品や救命工具の収納が可能）／省エネルギーLED発光パネルシステム「ヒカルーネ」（LEDエッジライト方式・LEDバックライト方式等）。

キッズデザイン協議会

ユニバーサルセーフティ部門：最優秀賞（経済産業大臣賞）を日本自動ドアの「ブレイクアウトドアシステム（緊急時開放システム）」が受賞

キッズデザイン協議会（和田勇会長）は8月3日、東京・六本木ヒルズ「アカデミーヒルズ49」で「第5回キッズデザイン賞」受賞作品181点の中から上位賞29点の発表および表彰式を開いた。

全7部門のうち「ユニバーサルセーフティ部門」では、最優秀賞「経済産業大臣賞」を日本自動ドアの「ブレイクアウトドアシステム（緊急時開放システム）」が受賞した。

また優秀賞は日本自動ドア・安藤建設・ジャックエツ・森ビルの「可動式機械に潜む子どもの危険と安全対策に関する調査研究」、東芝・東芝エルイトレーディングの「防水形充電ラジオ」、審査委員長特別賞を住友スリーエムの「面ディングテープリングドーナツ」、日本コープ共済生活協同組合連合会の「自転車事故防止学習企画」がそれぞれ選出された。

さらにキッズデザイン賞は、ナブテスコの「フラットロスカードアシリーズ」、LIXILのトステムブランド「室内引戸Wソフトモーション仕様」、三協立山アルミの集合住宅用アルミ手すり「ティアライン」と室内引戸用「直張り敷居レール」などが受賞した。

日本自動ドア

「ブレイクアウトドアシステム」、どの位置でも子どもの力で簡単に開放できる安全機構

経済産業大臣賞を受賞した日本自動ドアの「ブレイクアウトドアシステム（緊急時開放システム）」は、スライド自動ドアにスイングオープン機能と停電時開放機能をプラスしたもの。閉鎖端以外のどの位置でも、スライドするドアをスイングオープンさせることができることが特長。子どもの弱い力でも簡単にオープンさせることが可能。



またドアをスイング（ブレイクアウト）させると同時に自動ドアの動作をサッシ縦枠の補助光線が感知し停止するストップ機能付き。さらに停電時には内蔵されたバッテリーによりドアを開放停止。その後ドアとFIXを同時にスイングさせることで開放できる機構。

エンジン内蔵の片引・両引の2タイプ。適用ドア重量：片引40kg・両引40kg×2。ドア幅650～1000mm。最大使用可能風速15m/s。

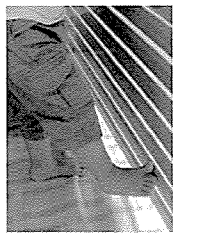
三協立山アルミ

子どものよじ登りを防止するアルミ手すり「ティアライン」、ネジ露出のない「直張り敷居レール」

三協立山アルミ（藤木正和社長）は、集合住宅用アルミ手すり「ティアライン」と、室内引

戸用「直張り敷居レール」でキッズデザイン賞を受賞した。

「ティアライン」は、横さんタイプのベランダ手すりで、外観の意匠性、室内からの眺望性と、よじ登り防止という安全性を兼ね備えたもの。フィンを床650mmに採用することでよじ登りを防止する。横さん間の隙間10mmと足親指が深く入らないようにしている。眺望性の高いライトタイプ、視線を遮るブラインドタイプ、中間のバランスタイプを用意。一方、室内引戸用「直張り敷居レール」は、取り付けネジを化粧カバーで覆い安全性を高めたもの。段差も5mm以下の設計。



LIXIL（トステム）

引戸本体が縦枠に近づくと自動的にブレーキが掛かり指挟みを防止

LIXILのトステムブランドの「室内引戸Wソフトモーション仕様」は、開ける時も閉める時も、引戸本体が縦枠に近づくと自動的にブレーキがかかり、指挟み事故を防止するもの。また最後までゆっくりと確実に閉まるので、引戸の閉め忘れ防止や開閉時の衝撃音の軽減にもつながる安全機構。

四国化成工業

砂壁「砂王」に「SKセレクトカラー仕様」を追加

四国化成工業（田邊博臣社長）は、フラットに仕上がる強靱な砂壁「砂王」に、「SKセレクトカラー仕様」（76色）を追加、

新発売した。

SKセレクトカラーは、独自開発された液体顔料システムで、施工時に材料を水と混ぜ合わせる際に混合することで着色されるもの。塗り壁では困難とされていた多色化に対応できるようになった。また、材料の保管場所の軽減にも効果がある。さらに、同社の「CCM」に対応、オリジナルカラー製作を容易におこなえることも特長。材工設計価格(100㎡以上)1700円/㎡。

**塗り壁・左官の魅力を伝えるDVD
「現代塗り壁JULUX」を制作**

四国化成工業は、塗り壁・左官の魅力を啓蒙し、市場の活性化と業界の発展を目的にしたDVD「現代塗り壁JULUX」を制作した。日本の気候風土にもっとも適した塗り壁の魅力を再認識するツールとして、企業の新人研修や勉強会、さらには一般施主向けに活用することを提案している(22分)。

**国際建築材料見本「BATIMAT2011」
にEX/塗り壁など出展**

四国化成工業は11月7日～12日までフランス・パリで開催されるヨーロッパ最大の国際建築材料見本市「BATIMAT2011」に出展する。

今回、2384社・55ヶ国の出展社、38万人の来場者が予想される国際展示会に、カーポート、門扉・フェンスのエクステリア商品、内装用けいそう壁、自然素材の塗り壁、舗装材などを出展する。これを契機に海外市場への取り組みを積極化する。

住軽日軽エンジニアリング

**LED照明付きアルミ接着ハニカムシェルターや
LED照明内蔵型アルミ高欄など大型物件に実績**

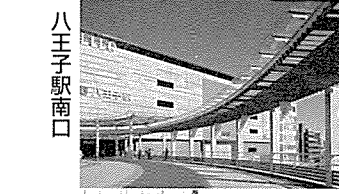
住軽日軽エンジニアリング(佐久間勇三社長)の2010年度施工大型7物件は以下のとおり。

- ①つくば駅前広場(つくば市役所)——アルミ接着ハニカムシェルター(LED照明付き)：施工1750㎡・アルミ重量42.1t。
- ②八王子駅南口ペデストリアンデッキ(八王子市役所)——アルミ接着ハニカム+ガラスシェルター：420㎡・3.5t/アルミ高欄+強化ガラス+再生木：170m/桁カバー：1020㎡/桁下スパンドレル：1300㎡。
- ③新青森駅東口・西口駅前広場整備(青森市役所)——アルミ接着ハニカムパネル：970㎡・24.2t/アルミドームトラス+ガラス370㎡。
- ④広島県・阿賀マリノ大橋(国土交通省中国地方整備局広島港湾・空港事務所)——アルミ車両用防護柵(キャプロア)1660m・28.5t/アルミ高欄840m・9.5t。
- ⑤東環状大橋(徳島県東部県土整備局)——アルミ高欄(LED照明内蔵型)：2732m・41.4t/アルミ車両用防護柵2522m・56.5t/抑流板(アルミハニカムパネル)1016m・23.1t。
- ⑥宮城県・岩沼庁舎耐震補強工事(岩沼市役所)——アルミ耐震補強工法：27構面・30.0t。
- ⑦日本科学未来館のジオ・コスモス2計画(科学技術振興機構)——アルミハニカムパネル+アルミ構造物：113㎡・7.0t。

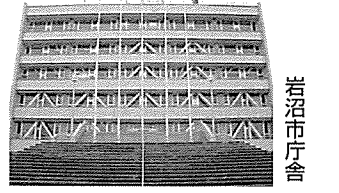
* * *



つくば駅前広場



八王子駅南口



岩沼市庁舎

2010年度売上高138億9000万円(前年度比1.2%減)、営業利益10億5000万円(5.4%減)、経常利益10億4000万円(3.7%減)、当期純利益6億1000万円(3.2%減)。

部門別は、都市景観部門36億4000万円(前年度比10.5%増)、溶接構造部門28億7000万円(6.4%増)と増加したが、道路公園部門56億8000万円(15.4%減)、建築部門10億2000万円(2.1%減)、上下水部門6億8000万円(1.1%減)となった。

今年度計画は、売上高140億円の増収、減益を予想。部門別には今年度とは逆に道路公園部門64億円、建築部門11億8000万円、上下水部門7億9000万円と増収だが、都市景観部門28億7000万円、溶接構造部門27億6000万円の減収を見込む。

YKK AP堀秀充社長

(建材新聞協会共同インタビューから)

**地域で勝ち残り、信用力を得ている流通店と
もう1回タッグを組み事業を進めていきたい**

——社長就任に際してメーカーに徹すると明言されました。

堀 いまの流通店さんは厳しい状況の中で勝ち残ったところで、後継者がいるところは尚のことやる気がある。私の実家も地場で電気工事店を営み、その苦労を目の当たりにしてきたから、地場で信用を得ている流通店さんは大好きですよ。そうしたお店ともう1回タッグを組みたいと考えて、従来の直販10支店を廃止するなど方針転換をはかった。いま直販比率は2008年当時の5分の1程度しかない。

埼玉窓工場の開設で首都圏向けにAPWを本格化、まずビルダー向け窓支店の充実を図る

——第3次中期経営計画で営業利益5%の189億円をめざし、窓事業、リフォーム分野、海外建材事業の3つの成長分野で売上高440億円増を計画している。

堀 窓事業は7月20日埼玉窓工場をオープンし、首都圏向けにAPW330(樹脂窓)、APW310(アルミ樹脂複合窓)を展開する。世界的に断熱といえば樹脂窓だが、いま首都圏の樹脂窓は1%程度しか普及していない。

埼玉窓工場は、首都圏向けの初の工場でもあり、物流コストを抑えながらAPWの普及に力をいれていく。まずビルダーさんに理解しAPWを採用していただくためにも窓支店の充実を



図りながら、窓事業を100億円事業に育てたいと考えている。

生活者と接点を持ち、地域密着型の信用力ある「窓屋さん」へと成長を期待している

——リフォーム分野の300億円増販のポイントは？

堀 2012年にMADOショップ1000店と知っているが、これは数ではなく中味が大切だ。いまMADOショップには差があるが、リフォームに不安を感じている生活者・消費者と接点を持ち、窓を切り口に地域で信用力のある「窓屋さん」として展開していただきたいと思っている。こうした地場に密着した産業は今後も残っていくし、共感していただく方が増えてきて、やっと方向性がみえてきた。

またビル・集合住宅向けの窓取替工法として、グラフ工法や非溶接工法を開発した。商売をしながら工事をおこなえる工法で、リフォームにおける消費者のさまざまな要望に応えるには、製品+取替工法の開発が欠かせない。

戸建住宅向けのスマートカバ

ー工法では、10月からAPW300も可能になり、内窓プラマードUだけではなく、外窓の取替えも提案できるようになる。

MADOショップには、戸建住宅のお客さんだけではなく、マンション住まいのお客さんにも来てもらいたい。そうした親しみのある店づくりのために、Tポイントも使えるようにしているし、扱いを広げられるような商材を提供していく。

中国で「採用したい建材ブランド表彰」窓部門の第1位を獲得した

——海外建材事業の見通しは？
堀 ファスナーと違って、建材は気候風土、法律などが国ごとに違い、商品づくりに時間が掛かった。今年、中国不動産協会の住宅販売高上位500社が選出する「採用したい建材ブランド表彰」窓部門で、欧州・韓国勢を押さえて第1位表彰を受けた。米国、台湾、インドネシアでもその商品は評価されている。

中国には上海支店、アルミの深せん工場、部品・窓・CW加工の蘇州工場、樹脂の大連工場を置いている。中国では、売上高は伸ばせるが、商流を見極めないと利益が出せない。キャッシュオンデリバリーを採用し、利益が出るように変わってきた。

海外売上高は約450億円、中国160億円、アメリカ100億円が主など。以前はアメリカが多かったが、08年リーマン・ショック以後激減した。ただアメリカは人口約3億人と重要な市場に変わりはない。(7月7日、YKKAP本社にて)

売上高1000億円台に向かって潜在需要の掘りおこしを進めるビル・マンション改装市場

AL→ALにシフトした窓改修事業 2020年度売上高600億円台と予測

2010年度新設着工建築物（床面積）は、居住用7779万4000㎡（前年度比8.3%増）、非居住用4448万9000㎡（同7.5%増）、全体で1億2228万3000㎡（8.0%増）と4年ぶりに増加した。

非居住用の用途別床面積で見ると、事務所が前年度比21.4%減少した以外は、店舗3.9%、工場・作業場18.3%、倉庫6.1%、学校の校舎2.9%、病院・診療所53.3%、その他14.3%といずれも増加した。

また、新設マンションも9万8000戸と前年度比45.1%増と再び上昇軌道に乗ったようにも見える。こうした昨年度の実績にもかかわらず、ビル建材市場には先行きを不安視する見方が依然として根強い。ビル用サッシの牽引役である事務所、店舗の停滞がつづいているためである。

そのためにビル建材メーカーは、新設需要の低迷を改装需要の掘り起こしでカバーしようとの動きを加速させている。ビル建材メーカーで構成する業界団体「建築改装協会」（松倉利弥会長）のまとめによると、2010年度売上高実績は721億円と前年度比約5%増加した。今年度は729億円、1.1%増を見込んでいる。さらに、中長期予測では、2013年度773億円、2016年度860億円、2020年度1076億円を見込んでいる。

2010年度実績を商品別にみると、窓378億円（構成比52.4%）、ドア127億円（同17.6%）、フロント113億円（同15.7%）を主力商品に、外装（31億円）、手すり（31億円）、メンテナンス（27億円）、面格子（4億円）、内装（10億円）の割合。

用途別には、住居ビルが249億円（構成比34.5%）、一般ビルが225億円（同31.2%）、学校185億円（同25.7%）、庁舎と病院がそれぞれ31億円。対前年度比では、病院28%増、学校12%増とおおきな伸びを示した。

国内のビル建材市場は、事務所・商業施設の一般ビル分野とマンション・集合住宅分野を両輪に展開されている。そのストック数は膨大なものになる。たとえば、窓改修は2020年度売上高604億円を予測する。その根拠は、築30年以上のストック住宅のうちST→AL改修は終わりに近づいて

いるが、その対象が約100万戸とも推定されるAL→AL改修は始まったばかりであることによる。

窓改修以外の2020年度予測では、ドア改修が195億円、手すりが70億円、メンテナンス40億円と大きな伸びを予想している。そのほかのフロント110億円、外装43億円、面格子4億円、内装10億円は現状とあまり変わらないと見込む。

LIXIL、YKKAPが市場を牽引、民間マンション・ビル向けの最適な改修工法提案で需要開拓

「窓改修」事業は、三協立山アルミ、不二サッシ、LIXIL（新日軽、トステム）、YKKAPらの大手サッシを主体に展開される。

「窓改修」の対象は、マンションら集合住宅、一般ビル、学校が主体。公社・公団、一般ビルの92万6000戸を対象にしたST→AL窓改修がほぼ終了し、現在はおよそ100万戸と推定されるAL→AL窓改修にシフトしている。マンションらの民間物件が増えていることから、窓改装の実施率はまだ低いのが現状。

そのために各社は、居住者に負担をかけず、現在の開口幅を出来る限り維持し、断熱性・遮音性・防犯性を向上させて快適な住環境の創出する改装用サッシ工法の開発に取り組んでいる。

新工法開発では、既存開口幅の確保、下枠段差の軽減、断熱・遮音性のアップ、さらに施工にともなう居住者の負担を解消する工事時間の短縮などの課題がクリアされている。

各社の主力工法には、三協立山アルミの「HOOK SLIM」、不二サッシの「RE工法」、LIXILの「PRO-SE・RF」、YKKAPの「GRAF工法」などがある。いずれも新しいカバー工法であるが、下枠の段差が解消されたバリアフリー対応、既存の開口幅の維持、空気層12mm複層ガラス仕様、工事時間の短縮等をセールスポイントにする。

最近の省エネ・エコ志向は、開口部の高断熱化への関心を高め、複層ガラスの採用を増やしている。民間マンションの場合、ほぼ100%複層ガラス仕様に取り替えられている。最近はさらにワンランク上のLow-E複層ガラス仕様もめずらしくないという。窓改修全体の複層ガラス採用率は、

40%~20%とメーカーによってバラツキがある。

いま窓・玄関ドアを中心にした改装市場は、LIXIL 208億円、YKKAP 206億円で業界をリードしている。今年度は両社とも230億~250億円の高い成長を見込んでいる。

いずれにしても改修分野には、窓、玄関ドア、フロント、手すりなどさまざまなアイテムがあるが、管理組合のような民間ユーザーをターゲットにした営業展開、商品提案がもとめられている。その販売ネットワークづくりに重点が置かれている。

マンション分野で樹脂内窓の採用がどこまで進むかに注目あつまる

一方、住宅エコポイントの後押しを受けて急成長を遂げた「樹脂内窓」は、今年も有力な開口部改装商品として販売拡大が見込まれている。昨年度「樹脂内窓」は、エコ意識の高まりの後押しを受けて、一気に100万窓の万台に乗せた。LIXIL、YKKAP、三協立山アルミの3社は、前年度比3倍という驚異的な伸びをみせた。

樹脂内窓市場は、AGC旭硝子の「まどまど」、三協立山アルミの「プラメイクE」、大信工業の「プラス」、不二サッシの「インプラードU」、LIXILの「インプラス」、リフォジュールの「メルツエン」、YKKAPの「プラマードU」で形成されている。

エコポイントが終了した今年も、樹脂内窓は成長を遂げることができるといかに関心が集まっている。昨年ほどの伸びは無理でも、戸建住宅以外にも新たな需要を掘り起こすことによって、ある程度の拡大を見込むブランドがおおい。とくに、集合住宅分野では拡大の可能性が残されているとの見方がされている。

三協立山アルミ

ローコスト化を実現した窓改修工法「HOOK SLIM」などを集合住宅居住・学校向け主力に実績づくり

【ビル・マンション改装商品】■窓改修工法—◆「HOOK SLIM」（HOOK工法の窓種を限定して集合住宅向けに進化させたもの。工期の短縮・改修費の軽減、部材・部品点数の削減によるローコスト化。見付のスリム化、改修前に近い有効開

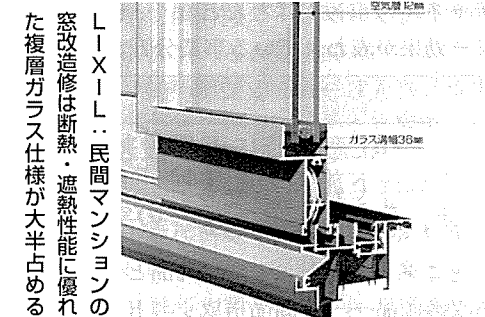
口寸法の確保）／「MTGカバー工法」（さまざまな改修案件に対応可能）等。■改修用玄関ドア—◆「簡易施工型カバー工法」（耐震性、操作性）。■後付樹脂内窓「プラメイクE」（断熱・遮音性能の改善を、短工期で外窓改修よりもローコストで実現）。

【最近の動き】ビル・マンション改装事業は、「HOOK SLIM」、「MTGカバー工法」などの窓改修を中心に展開する。窓改修は、AL→AL改修が96%を占める。空気層12mmの複層ガラスに対応する「HOOK SLIM」に代表される窓改修時における複層ガラス採用率はおよそ20%。このほかにも遮音性、意匠性、操作性、防犯性などの向上を目的にする。用途別には、マンションら居住向け40%弱、学校30%弱、一般ビル25%、官公庁・病院等10%弱。マンションら集合住宅と学校が、主力市場を構成している。

LIXIL（トステム／新日軽）

改装用サッシ「PRO-SE・RF」に統合、100%複層ガラス仕様の民間マンション窓改修分野への浸透を強化

【ビル・マンション改装商品】■商品体系（トステムと新日軽の改装商品を統合）—◆改装用サッシ「PRO-SE・RF」：水密ゴム・気密ゴムを採用したドライシール工法。1窓あたりの取付時間を最短30分と従来よりも30%スピードアップ。あらゆる既存サッシに対応するカバー工法専用枠・専用下地材を設定し施工時間を短縮。引違い窓の場合、既存サッシのレールを切断せずにフラット化を実現（特許出願中）。開口部の大きさもほとんど変わらない。細見付のシャープなデザインが特徴。見付寸法40mmのスリムな召合わせ



ホルムアルデヒド等有害物質対策に効果的な塗り壁・天井材 — けいそう壁 / 備長炭壁 / ゼオライト壁 / しっくい壁 . . .

「珪藻土配合塗り壁」への信頼性を高める公的機関の試験データ表示必要

塗り壁材のトップメーカー・四国化成工業が、珪藻土配合塗り壁材「けいそう壁」を発売して以来、ホルムアルデヒドやVOC等の有害物質を吸着する塗り壁材として「珪藻土」が脚光を浴びている。

「珪藻土配合塗り壁」市場には、業界をリードする四国化成工業、フジワラ化学以外にも10社をこえるメーカーの商品であふれている。03年改正建築基準法の施行以来、珪藻土配合塗り壁材は、快適な室内空気環境を実現した「健康住宅」に欠かせない商品として広がりをみせた。

発売当初、戸建住宅や商業施設などの新築分野で、左官のプロしか扱えなかったものが、その後、一般ユーザーの要望に応えるようにクロス壁の上からでも施工できる商品が開発されたことが、一般ユーザーにも身近な塗り壁材として認知され、需要を拡大した理由のひとつだろう。

「珪藻土配合塗り壁」の広がりにともない業界には、公的機関による性能試験を受けないまま流通する商品の増加に懸念の声も起きている。つまり、珪藻土配合塗り壁材といっても、珪藻土の配合率によってはホルムアルデヒド吸着性能には差が出るわけで、その点を試験によって明確にする必要がある。

JIS A 6909吸放湿試験、あるいは試験方法を明確にしたホルムアルデヒドやVOC放散測定試験の結果を機関名と共に表示する必要があるだろう。そのことが珪藻土配合塗り壁に代表される「塗り壁材」全体の信頼性を高めることにもなる。

四国化成の「けいそう壁」シリーズ、フジワラ化学「シルタッチ」を軸に市場を形成、100%自然素材も注目

塗り壁材市場では、珪藻土配合塗り壁材と同様の性能をもった商品の開発がすすめられている。四国化成の「けいそう壁」シリーズも、意匠的にはモダンコートや聚楽壁、土壁、砂壁などの豊富なバリエーションがある。備長炭と珪藻土の機能を活かした天井材の品揃えもある。

またフジワラ化学は、珪藻土、天然のり材セラック、天然砂、木粉など100%天然素材を使用した自然素材内装材「自然空間」を発売した。珪藻土の価格上昇に対応して多孔質天然鉱物「ゼオライト」配合商品をすでに展開している。

最近では、100%天然素材の「しっくい壁」の人氣が高まっている。日本漆喰協会の化学物質放散自主認定制度によれば、「しっくい壁」とは、消石灰またはドロマイトプラスター重量が全重量比30%以上で、13化学物質中8物質について有効であるとしている。

「しっくい壁」は高級仕上材で、四国化成の「ネオしっくい」「ネオしっくいクリーム」は、カラギーナンをのり剤に使用した100%自然素材で、ホルムアルデヒドの吸着・放散抑制効果、吸放湿作用、二酸化炭素を吸着し壁面強度をあげる効果、強アルカリ性による抗菌効果などを表示する。

珪藻土配合塗り壁材は、四国化成工業、フジワラ化学以外に、富士川建材工業、日本ダイヤコム工業、二瀬窯業、ワンウィル、エコドマス、田川産業、ウベボード、エムティーシー、吉野石膏、スタイル工房、ナトゥアジャパンなど、多くの企業が扱っている。

そのために市場規模の算定は難しい。業界をリードしているのは、四国化成工業とフジワラ化学の2社である。両社とも年間160万㎡前後の販売量と推定される。数年前の「珪藻土ブーム」時には、年間200万㎡の大台をキープしていたから、新設住宅・ビル物件の減少が響いている。

両社の販売傾向から塗り壁をみると、居住向けが70~80%を占める。新築とリフォームの比率は7対3。内装向けが70~80%、外装向け20~30%の比率。

大型物件例をみると、珪藻土配合塗り壁は、その機能を最大限活かし、快適な空気環境をもとめるホテル・旅館、レストラン等飲食店、メモリアルホールなどの商業施設に採用されるケースがおおい。こうした不特定多数の人が出入りする建物では、ホルムアルデヒドなどの有害物質や空間の臭いを吸着する機能はとても効果的にはたらく。

枠。枠見込70mm・ガラス溝幅36mmで空気層12mm複層ガラス仕様。樹脂性額縁と空気層6mm以上・PG障子の組み合わせで断熱H-1。単板ガラス6mm以上で遮音T-2等級。

◆改修用玄関ドア「リフォームドア」(LIXIL鈴木シャッター)：かぶせ工法「シンプルカバー工法」(施工時間を30%短縮)／かぶせ工法(持出し工法・カバー工法・狭まりゼロ工法)／扉のみの取り替え工法。豊富なデザイン・カラーバリエーション。プッシュプル錠グリップハンドル型、プッシュプル空錠プレートハンドル型など用意。性能面では、建物変形時にもドアの開放ができる対震ストライクドアが増加。防犯・防音・断熱型ドアを用意。

◆防音・断熱内窓「インプラス」：住宅エコポイント効果もあって、昨年度5倍増・100億円の大台を達成。節電対策のひとつとして開口部商品に関心が集まってきていること、またマンションら集合住宅にも浸透を強めることで、今年度も対前年度比20%増を計画。

【最近の動き】 新日軽とトステムの商品統合をすすめ、「LIXIL」としてマンション・ビル窓改修市場をリードする。

昨年7月には、業界で初めてマンション管理組合向けに「サッシ・玄関ドアのリース提案」事業をスタートさせた。民間マンションの窓改修では、100%複層ガラス仕様を採用されているほか、最近ではLow-E複層ガラスも採用されるなど、開口部断熱商品への関心がきわめて高いことが特長。また民間マンションは、ほとんどがAL→AL改修である。

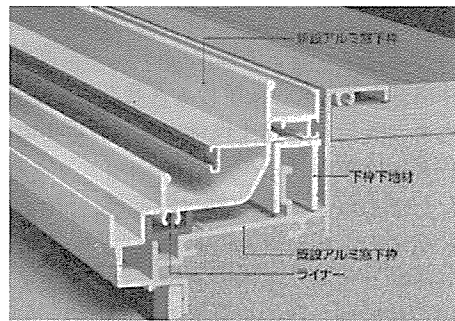
改修対象は、トステムが居住向け30%、一般ビル40%、学校20%、その他病院等10%。新日軽が居住105、一般ビル60%、学校30%。両社の販売チャネルの重複がほとんどなく、統合によるシナジー効果が表われている事業分野。

YKK AP

AL→AL窓改修に下枠段差を軽減・スピード施工の新工法「GRAFF工法」を主力に業界随一の実績を誇る

【ビル・マンション改装商品と最近の動き】 ■窓改修商品——◆商品構成：「R'70SGR」「エク

YKK AP…下枠段差を解消し障子の内外しが可能、広い有効開口幅の「GRAFF工法」大好評



シマ70SGR」を中心に、引違い、FIX、内倒し・外倒し、すべりだし、突き出し、開き、上げ下げ、ドアなどをフルランナップ。◆セールスポイント：アルミからアルミに対応した「GRAFF工法」。既設窓枠の下枠レールをカットし、枠内に新設下枠を接合する新工法。従来工法と比較して、「下枠段差軽減」「有効開口の確保」「騒音・粉塵の抑制」「住まいながらスピード施工」をセールスポイントに豊富な実績を積み上げている。◆販売傾向：AL→AL改修が96%を占める。用途別には、マンションら居住向けに35%、学校向け30%強、一般ビル向け30%弱が主力マーケット。その他官公庁・病院等。窓改修にともなう複層ガラス採用率は約40%と増加傾向にある。

■改修用玄関ドア——◆商品構成：「R'sSDX」／「EXIMA80St」シリーズの片開き化粧鋼板ドア。芯材：水溶性アルミ紙ハニカム・グラスウール。◆セールスポイント：既存枠を取り外さない1戸あたり約100分のスピード施工。汎用性の高い「カバー工法」、従来通りの有効開口幅を確保できる「持ち出し工法」、予算を抑える「扉交換工法」を用意。◆販売傾向：防犯性・断熱性・遮音性にくわえて耐震性ニーズが増加。耐震防犯仕様で対応を強化。住民の高齢化にともない開閉しやすいプッシュプルグリップ錠など、操作性のよい部品への交換も増加している。

■エコ内窓「プラマードU」：遮音性、断熱性・省エネ、防露性、1セット60分の施工性がセールスポイント。引違い、FIX、内開き、開きドアのバリエーション。居室だけではなく浴室にも採用できる。断熱地域別には、Ⅳ・Ⅴ地域向け90%弱を主力に展開。エコポイント終了後も底堅い需要を予想する。

今後、空気環境への関心が高まるにつれて、さらに広がりを見せるとおもわれる。

四国化成工業

「ホルムアルデヒド吸着分解」「悪臭吸着分解」等のプラスα機能をもつ「けいそう壁」で健康壁ブーム演出

【内装材・外装材】□新商品——◆聚楽壁「ジュラックス・A」（セレクトカラー仕様）：土・砂の「自然な風合いの和空間を演出。カラー全76色・CCM対応も可能。◆内装用下塗材／補助材「SK1day工法」：石膏ボードの継ぎ目に段差がない場合、小面積（20㎡／人）なら1日で上塗りまで仕上げられる。J-ソフトファイバーテープ（ガラス繊維網目テープ）、SK速乾パテ（既調合）、SK速乾プラスター（薄塗り下塗り材）。

□重点商品——◆「けいそう壁シリーズ」：特長（湿度を一定に保つ吸放湿作用。ホルムアルデヒド等の有害物質を吸着・分解＜無害化＞。生活臭・ペット臭等を吸着。断熱効果、防火性）。商品バリエーション（モダンコート内装・内装シルキー・フラット、ジュラックス土壁、ファームコート内装、聚楽、モダンコート直塗り、リフォーム、砂壁等。◆「さやかシリーズ」：備長炭＋けいそう土。炭の温熱効果、電磁波シールド効果。洋風・和風・黒壁・天井材等。◆「ネオしっくい」：自然素材100%のしっくい壁。◆「天井材」：けいそうモダンコート天井、けいそうリフォーム天井、さやか天井。◆ローラー・ヘラ専用壁「テンドアートップ」：ビニルクロスや石膏ボードの上から直接施工できることが特長。

【最近の動き】 「けいそう壁」ブームを演出した塗り壁材のトップメーカー。「調湿機能」に独自の「ホルムアルデヒド吸着分解機能」「悪臭吸着分解機能」など、室内環境を改善するプラスα機能を付加した高機能商品群を投入する。

塗り壁市場の拡大に向けて、SKセレクトカラー60色・76色もの多彩なカラーバリエーション、CCMによるオリジナルカラーを品揃えする。また、一般ユーザーへの認知度を高めるためのDr.コバ監修「塗り壁風水」の制作、塗り壁市場の底上げをねらった「SKメッシュ工法」「SK1day工法」など新工法の開発をすすめている。

四国化成：備長炭＋珪藻土配合の「さやかシルキー」「さやか天井」を採用した快適なリビング



珪藻土配合等高機能商品群は、販売量全体の30%強を占める。一般居住向け80%・非居住向け20%。新築70%・リフォーム30%。内装向け70%・外装向け30%。これらの販売比率に変化はない。一般住宅での採用率のアップに力をそそぐ。リビングや寝室、子供部屋等へのワンポイント施工によっても、室内の空気環境を改善できることを一般ユーザー向けにPRしている。

大型物件の施工例には、梅田屋旅館（群馬県）、魚彩和みの宿三水（千葉）、パークコート麻布十番ザタワー（東京都）、井筒桜（愛知県）、Italian Style110 A L Fonte（大阪府）、ガルーダスパ（香川県）、一鶴土器川店（香川県）、エレナホール上福岡（香川県）、かば田陣原店（北九州市）など。

これらの施工例をみても、「調湿」「ホルムアルデヒド吸着分解」「悪臭吸着分解」などの諸機能は、不特定多数の人が使用するホテルや店舗などの商業施設で効果を発揮していることがわかる。

フジワラ化学

自然素材内装材「自然空間」を新発売、調湿・脱臭機能も珪藻土・セラック・天然砂・木粉等自然素材のみ使用

【内装・外装仕上塗材・珪藻土仕上材】□新商品——◆自然素材内装材「自然空間」：珪藻土、食品の原料にも使われるセラック、天然砂、木粉など自然素材のみを使用。調湿機能・脱臭機能をもち室内空間をクリーンにたもつ。

【最近の動き】 調湿機能、脱臭機能、ホルムアルデヒドなど有害物質の吸着分解機能などをもつ高機能内装仕上材で実績をあげる。とりわけ珪藻土配合仕上材では、「シルタッチ」シリーズを主力商品に業界トップクラスの販売実績を誇る。

珪藻土配合内装仕上材の価格競争に対応するた

めに、「シルタッチ」同様の機能をもつ「ゼオライトメリット」を発売する。さらに、安全性に実績のある天然素材を使用した内装用仕上材「自然空間」を新発売し、商品のバリエーション化をすすめている。

販売傾向をみると、居住向けが70%、非居住向

けが30%の比率。新築向け70%・リフォーム向け30%。内装用80%・外装用20%。商業施設を中心にした非居住分野につよとの定評があるが、業界に先駆けたビニルクロス直塗りの改修工法をセールスポイントに居住分野への浸透を強化している。

特集3

最新ライフスタイルにあった快適で健康的な室内空間を実現する木質内装建材／アルミ内装建材

コミュニケーションを重視したオープンインテリアプラン主流、エコ素材の採用など環境への配慮もテーマ

最近のインテリアプランは、キッチンとリビングの仕切りを取り払ったオープンスタイルが主流である。核家族化にともないコミュニケーションを重視したプランである。

たとえば、子どもを中心にしたプランでは、キッチンにもリビングにも階段通路にも読書可能なスペースを設けたプランもある。生活の中心をリビングにおくことによって、2階部への動線に玄関部からの独立型階段ではなく、リビング階段を取り付ける事例が半数に上っている。

こうしたライフスタイルのもと快適で健康的な室内空間づくりが行われている。とくにシックハウス対策は、内装建材の最優先テーマとされ、いまではF☆☆☆☆認定品の使用が当たり前になっている。

また一歩進んで、ホルムアルデヒドやVOC等の有害物質を吸着・無害化する高機能建材の採用例も増えている。さらに、環境意識の高まりにともない木材資源を有効活用する100%エコ素材の採用が求められる。

最近では、CO₂排出削減・省エネ対策に適したインテリアプランの研究も盛んにおこなわれるようになってきた。自然の光と風を室内に取り込んで、電力への依存度を引き下げ、かつ快適さを保つようなインテリア空間づくりである。

木質内装建材、天然木のあたたかみ風合い、重厚さがセールスポイント

木質内装建材は、床材・階段、室内ドア・引

戸・クローゼットドアらの建具、壁・天井材などで構成される。一般的に1棟あたり内装建材は100万円といわれる。昨年の新築住宅だけを対象にすると800億円市場と推定される。

業界をリードするのは、床材・階段など木質内装建材の主力商品を、素材から加工まで一貫システムのもとに投入する専門メーカー群。大建工業、パナソニック電工をトップにウッドワン、永大産業が上位を占める。そうして室内建具分野から参入したLIXILがいまでは上位グループを形成するところまで成長をとげた。

そのほかにもノダらの専門メーカーが内装建材事業をすすめる。大手サッシ系のYKKAP、三協立山アルミもLIXIL同様に室内建具分野からの参入である。

アルミインテリア建材、シャープなデザインと機能性で新需要開拓狙う

木質内装建材は、素材の温かさを生かして快適な室内空間を創出する。高級木材は経年変化でさらに価値を高めるほどだ。畳からフローリングへの変更にともない、耐キヤスター性・耐候性の高い高機能タイプの開発もすすめられた。こうした高機能も大事だが、木質内装建材の特長は、その質感のよさ、柄・色合いにある。LIXILは、中級品「ウッディーライン」に本物の風合いにちかいくリエカラーを採用し、価格競争力を強めている。

LIXILをはじめYKKAP、三協立山アルミのように、室内建具や造作材を主力商品に展開するメーカーは、安全性やバリアフリー、機能性に配慮した商品開発に力をそそいでいる。窓やド

ア・引戸・間仕切りで培った技術の応用である。たとえば、LIXILや三協立山アルミがキッズデザイン賞を受賞しているが、これもサッシ系の技術力を活かした商品づくりによる。

そうした大型商品のひとつが、アルミ製リビング階段である。独立型階段として採用されることもあるが、当初のらせん階段の流れをくみ、リビング階段として採用されるケースがおおい。

このKDタイプのリビング階段では、カツデンアーキテックの金属加工技術を活かした新発想のスチール製シースルー直階段「ObjeA (オブジェA)」が業界をリードしている。同社は、強度に不安のないスチールを採用することで、ささら桁のないフォルムや1枚の板を折り曲げて連続させた独創的なデザインのシースルー直階段を開発した。

一方、アルミ製リビング階段は、三協立山アルミの「AMiS」シリーズ、LIXILの「ビュライ」シリーズ、YKKAPの「アルミインテリア建材」シリーズに商品化されている。アルミの素材感、軽量さを活かした商品展開だ。

いまスチール製・アルミ製リビング階段は、トップメーカーのカツデンアーキテックが月産120台をキープしているが、他社はその半分にも満たない。ただ、最近の住宅でリビング階段の設置例が増えていることは、スチール製・アルミ製リビング階段に可能性が広がっていることを示しており、今後の成長に期待を寄せている。

三協立山アルミ

木質インテリア「ウッデリアVS」シリーズに刷新、アルミ製「AMiS 室内階段」モダン系住宅中心に浸透

【内装建材】□新商品——◆木質インテリア「ウッデリアVS」シリーズ：新たなデザイン・機能を付加しシリーズを刷新。機能面では、閉じる手前で減速し静かに最後まで閉まり、振動音を低減する「ソフトクローズ機能」を、室内ドア（オブション）、クローゼット開き戸（標準）に設定。室内引戸には、閉じる直前に障子（引戸）が突き上げる現象を緩和する「アップレスソフトクローズ」採用。また、Y字型レールとベアリング戸車により静かでスムーズな開閉、安全性に配慮。

デザインは、モダン・トラッド・和・カジュアルのスタイルに対応する天然木の風合いのスタンダードタイプ45ドアデザイン。アルミ+ガラス、アルミ+木質、ガラススリット等のセレクトタイプ15デザイン。室内ドア、機能ドア（採風タイプ等）、引戸、クローゼット、可動間仕切りなどのバリエーション。片開きドア（セット価格）をベースグレードに、仕様変更や機能追加にともなう価格をわかりやすく設定したことも特長。

【現況】 木質インテリア「ウッデリア」シリーズを刷新し、最新のデザイン傾向、新機能に対応する。デザイン的には、横木目柄などバイセンスであたたかみのあるデザインが人気。カラーは、ホワイト系からダーク系まで幅広いニーズがあり、とくに洗練された木目柄が求められているとの見方。木質建材はすべてF☆☆☆☆をクリアし、低VOCにも取り組む。バリアフリー対応商品の品揃えも進める。

戸建住宅向け85%、集合住宅向け15%の販売比率。部位別販売は、ドア・引戸・クローゼットの建具75%、造作材11%、床材7%、階段5%、その他2%の割合。

アルミを素材に新たなモダン系スタイルに対応する「AMiS」シリーズは、もうひとつのデザインシリーズ。「収納引戸」を追加し、洗練されたキッチン空間を演出する。一方、「AMiS」シリーズの主力商品である「アルミ室内階段」では、らせん階段、ピラー階段、トラス階段、ビーム階段など多彩な商品バリエーション。アルミの特長を生かしたデザイン性と施工体制をセールスポイントに、モダン系住宅に実績をつみあげる。アルミ室内階段では直階段を中心に業界トップの実績を残している。

LIXIL (トステム/新日軽)

リビング建材「ウッディーライン」の高機能ドア・引戸で業界リード、アルミ階段「ビュライ」の拡販に取り組む

【内装建材】□商品統合——◆リビング建材「ウッディーライン」(主力の中級品) / 「ファミリーライン」(普及品) / 「グランドライン」(高級品)。◆アルミインテリア建材「ビュライ」シリーズ。

□新商品——◆「ウッディーライン」に追加：壁内部に引いた戸が納まり、デッドスペースをなくする「引込み戸」。開ける時も閉める時も本体が縦枠に近づくと自動的にブレーキが掛かるWソフトモーション機構を標準搭載した「室内引戸」。ベビーカーも仕舞える土間収納「クローゼット折れ戸すっきりタイプ」& 「すっきり棚」。LDK空間のトータルコーディネートコンセプトにしたインテリア収納「TasBox」(タスボックス)。ドアストッパーを扉本体に内蔵した「みえナイゾウドアストッパー」搭載居室ドア。また、リビング建材のカラーバリエーションとして、木目を際立たせ質感を高めた<クリエカラー>を展開している。◆アルミ階段「レジェ」一本桁階段(直線階段・下曲3段階)、新水平手摺(床置きタイプ)：レジェのトラス・竜骨、Fisのササラ桁の各タイプにつづくアルミ階段シリーズで、踏板・手摺棒の木製品カラーはリビング建材とコーディネート可能な新7色。Fis・ササラ桁タイプにLEDフットライト付き階段追加。アルミ室内建具に可動間仕切り「スタイルシフトウォール」ジョイント部材L型・T型を追加。

【現況】 「ウッディーライン」を主力とする木質内装建材と、アルミ階段を含むアルミ室内建具「ビュライ」に商品を統合した。

リビング建材「ウッディーライン」は、室内ドア・引戸・クローゼットドアなどの建具分野のトップブランドのひとつとして、安全性とバリアフリー対策を重視した高機能商品シリーズ。ここ数年連続してキッズデザイン賞を受賞している。デザイン面では、天然木に限りなく近づいた質感の<クリエカラー>を採用する。

一方、アルミ室内建具「ビュライ」シリーズは、室内階段や手摺、可動間仕切り、引戸、固定間仕切り、飾り棚など、アルミの特性を生かした商品展開。とくに、統合による新たな需要が見込めることから、アルミ室内階段シリーズの拡販に力を入れていく。

部位別販売をみていくと、強みでもある建具分野が販売全体の過半数を占める。これに窓枠など造作材20%がつづく。今後、木質建材専門メーカーの牙城である床材・階段分野への浸透がテーマのひとつになる。

YKKAP

木質インテリア建材「ラフォレスト」のプレーンカラーセレクト拡販 アルミインテリア建材も品揃え強化

【内装建材】□新商品——◆アルミインテリア建材「スクリーンパーティション」の新デザイン：M-type・H-type(木調ラミネートフレーム)・P-type(スライドする壁面をイメージしたパネル調)。◆木質インテリア建材「ラフォレスト」フローリングの新商品「新タフテクト」シリーズ：耐キャスター性とワックスフリーの清掃性を標準装備した4グレード。R(銘木調シートのハイグレード) / G(銘木調のスタンダードグレード) / N(天然木突板のベーシックグレード) / S(防水性能を備えた基材と大理石調シートの水まわり向けタイプ)。□重点商品——◆木質インテリア建材「ラフォレスト」のプレーンカラーセレクト：流行の木目のないホワイト系無地柄「プレーンカラー」を採用した室内ドア・引戸・クローゼットドアのセレクトデザインシリーズ。壁面に馴染み、調和して、広がりのあるシンプルな室内空間づくりを演出する。

【現況】 最近のデザイン傾向は、あたたかみがあり、自然なしつらえの上質で高品位なナチュラルモダンテイストが伸びている。また、木の素材感を表現した味わい深い銘木調柄をコーディネートした商品も人気。機能的には、全商品がF☆☆☆☆対応、「ZUTTOシリーズ」商品によるバリアフリー対応。

戸建住宅向け90%・集合住宅向け10%。部位別には、ドア・引戸・クローゼットドアなどの建具65%、造作材20%を主力に展開。

一方、リビング階段として、アルミインテリア建材「オープンリビング直階段」を発売。桁タイプと側板タイプ。手すり部パネルデザインにドットポイント・フレーム・横格子の3タイプ。アルミのシャープな質感を活かしつつ、天然木の温もりをもつ踏み板・手すり笠木を組み合わせたモダンな意匠がセールスポイント。1ミリ単位のフルオーダー対応、現場対応も可能。光と風を取り込んだ快適な空間提案「グリーンブリーズ」の実現に最適な商品のひとつ。

【新商品・新技術情報】／業界の動き

LIXIL (トステム)

アルミと樹脂のハイブリッドタイプ
「サーモスH」シリーズ8月全国発売

LIXILのトステムブランドは、アルミと樹脂のハイブリッドタイプの次世代スタンダードウィンドウ「サーモスH」シリーズを8月1日から全国発売に踏み切った。

「サーモスH」シリーズは、フレームと複層ガラスの新一体化技術「スマートシナジーシステム」(特許出願中)を採用したもので、昨年10月東北を皮切りに発売していた。

特長は、高断熱複層ガラスを標準採用した断熱性能は最高H-5等級。勝手口ドアに指込み防止の「インナーピボットヒンジ」(特許出願中)、握りやすく操作しやすい「内蔵式オペレーターハンドル」の採用。上げ下げ窓の上下障子の段差をなくした「フラットスライド構造」(特許出願中)や、内蔵式PSSバルンサーなど採用によるデザイン性のよさ。外観5色・内観5色。参考価格は、単体引違い窓、H1690×W1570mm、高断熱複層ガラス込みで8万1690円。

LIXIL (トステム/新日軽)

「第23回フロント施工例コンテスト」
施工作品募集中、9月30日締め切り

LIXILのトステム・新日軽ブランドは、「第23回フロント施工例コンテスト」を開催中。設計事務所・建設会社・販売店・加工店を対象に施工作品を募集中。締め切りは9月30日。

審査委員長は空間プロデューサー・柘植喜治千葉大学大学院教授。応募は、小規模店舗、大規模店舗・複合施設、オフィス・住宅・応用の3部門。グランプリ(1点・賞金各20万円)、金賞(1点・各10万円)・銀賞(2点・各5万円)・銅賞(2点・各3万円)など19点を表彰する。

住生活グループ

イタリア・Permasteelisa社の全株式を取得、アジア事業の展開に弾み

住生活グループ(藤森義明社長)は、LIXILが、Permasteelisa S.p.A(以下Permasteelisa社)の全株式をCima Claddings S.A(本社ルクセンブルク)より取得することで8月4日合意、株式譲渡契約を締結した。

取得価額は、普通株式2561万3544株を約5億7300万ユーロ(1ユーロ=110円で約630億円)の予定。Permasteelisa社は、現在27カ国でグローバルなカーテンウォール事業を展開している。LIXILは、アジア事業の強化と、欧州市場の確保、さらに全世界の市場を視野に入れ、海外売上高1兆円に向けて事業展開をはかる。

なおPermasteelisa社の平成22年12月期業績は、連結売上高10億3626万4000ユーロ、連結営業利益2547万7000ユーロ、連結当期純利益1698万2000ユーロ。

セコムと「住まい」「暮らし」の困りごと
解決の新サービス「トータルライフパートナー」(仮称)で提携、今秋提供開始

住生活グループ(藤森義明社長)は、セコム(前田修司社長)と、①「トータルライフパートナー」(仮称)サービスの開始、②セコムの新型ホームセキュリティのマイページへの住生活グループの参加、③共同商品開発の提供で業務提携した。

「トータルライフパートナー」は、家庭の安全対策をはじめ、家事支援や医療・介護サービス、自宅の修繕・メンテナンス、耐震・省エネ・断熱・バリアフリーのリフォームなど、ライフサイクルや住生活環境の中で発生する様々な困りごとや生活向上の相談、具体的な支援サービスに対応するもの。両グループが、トータルライフパートナーセンター(TLPセンター)を新たに設置、今秋からサービスを開始する。

LIXIL

中国でスチールドアの防火認定を取得している「無錫モリテック」を取得

LIXILは、中国・江蘇省でスチールドアの製造販売をおこなっている無錫茂泰特殊門业有限公司(以下、無錫モリテック)を、モリテック・インターナショナル(大庭直己社長)から取得することで7月27日正式に合意した。

中国市場に進出をはかるLIXILは、1月に上海美特カーテンウォール社をグループ入りさせているが、今回、中国における防火戸認定を取得している無錫モリテックをグループ入りさせ、マン

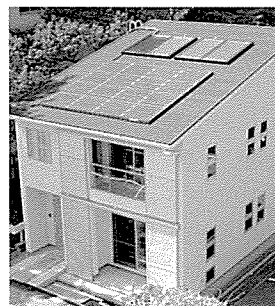
ション向け玄関ドアにも対応する。販売では海陽集団(ハイアールグループ)も活用していく考え。

無錫モリテックは、1994年10月設立、従業員130人、資本金2484万元、2010年売上高5億3000万円。子会社化後、董事長を派遣する予定。

東京大学生産技術研究所/LIXIL

HEMS搭載スマートハウス実験住宅「COMMAハウス」実証試験開始

東京大学生産技術研究所(野城智也所長)とLIXILのスマートハウス実験住宅「COMMAハウス」(駒場Ⅱキャンパス内)の共同実証試験がスタートした。



「COMMAハウス」

は、2020年に当たり前になっている住宅を想定したもので、風・光・熱を制御する開口部材や、太陽光発電・太陽熱利用機器・省電力照明(LED・有機EL)、HEMS(住宅エネルギー管理システム)を搭載したスマートハウス実験住宅。

実験は2016年3月まで行なわれる計画。特定メーカーの機器の利用状況の「見える化」や省エネルギー制御にとどまらず、①家電・機器分野と建築分野の連携による住宅トータルの快適性・意匠性の追及、②メーカー・異業種の機器の協調運用をおこなうマルチベンダーのオープンなシステム、③蓄積データの活用によるライフスタイルの提案などの実現をめざしている。

YKK AP

「東京スカイツリー」の第2展望台(高さ450m)ならびに空中回廊の外装カーテンウォール工事を完了

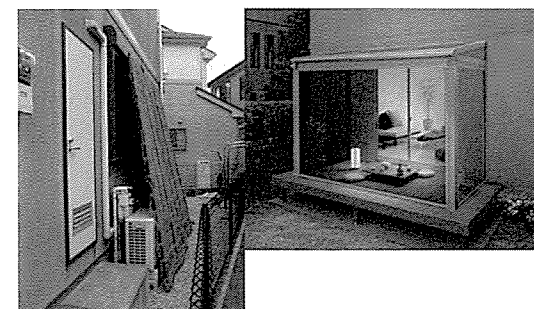
YKK AP(堀秀充社長)は、来年5月22日開業予定の「東京スカイツリー(634m)」の第2展望台ならびに空中回廊の外装カーテンウォール工事を完了した。

第2展望台は、第1展望台の100m上空の高さ450mに位置する。第1展望台とおなじり鉢状の形状。空中回廊は、半チューブ状のカーテンウォールで、第2展望台の外壁に沿って徐々に勾配をつけ

て巻きつく形で配置されている。すべてのガラス及びガラスユニットが異なる形とサイズで構成されており、勾配に合わせた高い施工技術が求められた。

「東京スカイツリー」におけるYKK APの担当箇所は、第1展望台(高さ350m)の外装カーテンウォール(1620ユニット・5200㎡)、第2展望台(高さ450m)の外装カーテンウォール(270ユニット・900㎡)、空中回廊の外装カーテンウォール(288ユニット・600㎡)、エレベーターシャフト(地上から展望台を結ぶ)の外装カーテンウォール(864ユニット・5300㎡)。

夏の節電対策に効果的な新商品の夕涼み空間「網戸テラス」、よしずや簾の設置に便利な「グリーンバー」発売



YKK APは、夏場の熱流入の7割を占める窓の節電対策に有効な新商品として、夕涼み空間「網戸テラス」、よしずや簾の設置に便利な「グリーンバー」の2点を新発売した。

夕涼み空間「網戸テラス」は、デッキに取り付けたテラス屋根の開口部3方向に、屋外用大型上げ下げロール網戸をセットしたもの。虫の侵入、外部からの視線を気にすることなく屋外で夕涼みができる。デッキは再生木、屋根部は熱線遮断ポリカーボネート、網戸の左右端部はYKK製ファスナー仕様。一般地域向けのフレームサイズW3000×D1470mm、デッキサイズW3657×D1825で、税込み価格94万4265円。

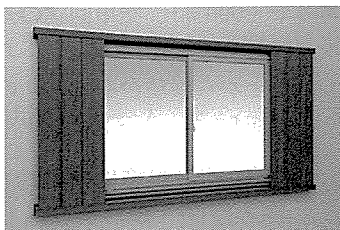
また、「グリーンバー」は、よしずの設置スペースの確保やすだれの吊り下げに利用できるほか、園芸ネットをフックに吊り下げ、つる性植物を絡ませるグリーンカーテンにも使える。アルミ製長さ3000×出幅183mmで、税込8925円。

これまで節電対策商品として、洋風すだれ「ア

ウターシェード」(壁付け納まり・バルコニー手すり納まり)、エコ内窓「プラマードU」、室内ブラインド「ハニカム。サーモスクリーン」などの商品を提案している。

防災・防犯・省エネ効果をもつスライド開閉式「アウターガード」新発売

YKKAPは、防災・防犯・省エネ効果をもつ「アウターガード」を新発売した。窓の外側に設置するスライド開閉形式。



扉本体は塗装鋼板を使用。防火設備としては使用できるが、CP商品ではない。

後付けタイプで枠部キャメル色、本体部キャメルチーク(木調)色。適用窓サイズ：幅640～1900高さ370～1570mm。代表価格：幅1265×高さ1080mmで税込25万4415円。

TOTO/DAIKEN/YKKAP

「TDYリモデルスマイル作品コンテスト2011」応募締切10月31日

TOTO/DAIKEN/YKKAPの3社共同主催の「TDYリモデルスマイル作品コンテスト2011」が作品を募集中。締め切りは10月31日。

応募条件は、応募店が設計または施工したりモデル物件で、2010年11月11日以降に工事を完了した物件。さらにTOTO商品を採用しているか、またはDAIKEN、YKKAPのいずれからの商品を採用しているリモデル物件であること。

募集はテーマ別部門、空間別部門、リモデルJp活用部門。全国最優秀賞(1作品)、グリーンリモデル優秀賞(1作品)をはじめ、各部門の最優秀賞・優秀賞などが多数表彰される。応募方法などの詳細はTOTOホームページ (<http://www.com-et.com>)

不二サッシ/不二ライトメタル

「KUMADAIマグネシウム合金の溶解から加工までの一貫した実証試作ライン整備」事業が経産省補助事業に採択

不二サッシの子会社・不二ライトメタル(前畑

政富社長)は熊本大学と共同申請した「KUMADAIマグネシウム合金の試作品製造・量産実証の設備・施設整備」事業が、経済産業省イノベーション拠点立地支援事業「先端技術実証・評価設備整備等事業」に採択された。

今回の事業では、KUMADAIマグネシウム合金の溶解鋳造から切削、切断、鍛造など加工までの一貫した実証試作ラインを不二メタル本社工場(熊本県玉名郡長洲町)に整備する予定。総投資額は約8億8000万円、補助金要望額は約5億9000万円。

KUMADAIマグネシウム合金は、熊本大学の河村能人教授が平成13年に開発したもの。室温強度と高温強度で世界記録を樹立し、超々ジュラルミンを凌駕。自動車をはじめ輸送機器や産業機械など幅広い分野への利用が期待されている。

積水化学工業

タイに年間1000棟規模の戸建住宅量産工場建設、来年12月完成

積水化学工業(株)住宅カンパニー(高下貞二プレジデント)は、タイ・バンコクの北約80kmのサラブリエ工業団地に、戸建て住宅(商品名:SCG-HEIM)の量産工場(年間生産能力1000棟規模)の建設に着手、来年12月完成をめざしている。

2009年以来、タイ最大のコングロマリットのひとつであるSiam Cement Group(サイアム・セメント・グループ)のSCG Building Materials Co., Ltd(エスシージービルディングマテリアルズ)と合併で、住宅の生産会社と販売会社を設立、施工体制・販売手法・コストなどの検証を行なっていた。

このテストマーケティングで坪単価25万～30万円台の住宅を販売、品質・性能面で高い評価を得たことを受けて、ボリュームゾーン向けに坪17万～18万円での販売をめざし量産工場建設に踏み切った。受注の70%以上をデベロッパーとの協業で確保する計画。そのためには早期の資金回収が可能な60日施工体制の確立が重要課題とする。事業計画では、2013年度600棟、2014年度1000棟。

自然にやさしい、やすらぎの空間

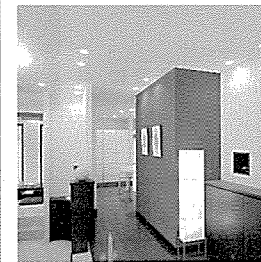
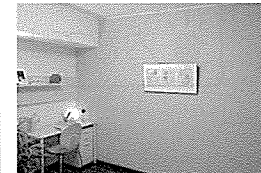


あなただけの色をお作りします。

CCM
コンピュータ・カラー
マッチングシステム



自然素材の内装壁材
けいそこうモダンコート



ホルムアルデヒド吸着分解 調湿

ホルムアルデヒド吸着分解 F☆☆☆☆

カラーオーダーについて詳しくは営業所までお問合せください。

四国化成工業株式会社

東京・北陸: TEL.022(374)4110 近畿・北陸: TEL.06(6339)4111 九州: TEL.092(431)4111
 首都圏: TEL.03(3451)4110 中国: TEL.086(245)3811
 中部: TEL.052(705)0111 四国: TEL.0877(49)5311 <http://kenzai.shikoku.co.jp>